



第31回小樽開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

令和3年11月18日に開催された「第31回小樽開発建設部総合評価審査委員会」の審議概要を、別紙のとおりお知らせいたします。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部
技術管理課長 田中 学 (0134-23-8305)
技術管理課長補佐 ^{はぎはら} 穂原 浩 (0134-23-8305)



第31回 小樽開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日・場所	令和3年11月18日（木） 小樽開発建設部 第1会議室
委員長	穴沢 眞（小樽商科大学学長）
委員	八木 宏樹（小樽商科大学名誉教授）
〃	山本 泰司（北海道科学大学工学部 教授） (五十音順)
議 事	<p>【1 審 議】</p> <p>工事の審査について</p> <p>① 石狩湾新港 地盤改良工事</p> <p>② 一般国道5号 共和町 島付内川4号橋A2橋台工事</p> <p>③ ニセコ地区 瑞穂工区区画整理工事</p> <p>【2 報 告】</p> <p>業務の事前審査</p> <p>第3者による業務の事前審査の報告</p>

委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意見・質問	説明・回答
<p>【1 審 議】</p> <p>令和3年1月1日から令和3年6月30日までに契約した工事の中から抽出された3件について工事概要説明及び審議を行った。（以下、入札参加者の提案またはその評価に係わる内容は、技術提案に関する機密保持の観点から記載していません。）</p>	
<p>○ 石狩湾新港 地盤改良工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事の総合評価落札方式を技術提案評価型S型にした理由は何か。 ・ 参加した4社中3社で入札価格が接近している理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事規模や重要性、技術的な難易度等を考慮し技術提案を重視した技術提案評価型S型を適用しました。 ・ 標準歩掛、設計条件が公表されており、高い精度で積算できたと考えられます。
<p>○ 一般国道5号 共和町 島付内川4号橋A2橋台工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は施工計画重視型であるが、どのようなものであるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該工事での施工監理に関する留意事項について重みを付け、施工監理能力の確認の配点を通常の10点から20点としています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ より同種工事は「コンクリート構造物」よりも「橋台、場所打ち杭」と設定した方が工事内容に合っているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札参加者の間口を広げるため、このように設定しました。

意見・質問	説明・回答
○ ニセコ地区 瑞穂工区区画整理工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価値の算出方法を説明してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準点である100点に企業や技術者の能力等である加算点と施工体制評価点を加算し、この点数を入札価格で除した後、1億を乗じて算出します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域貢献の実績は参加各社からの申請によるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加各社からの申請によります。

意見・質問	説明・回答
<p>【2 報 告】</p> <p>○ 令和3年度 第三者による業務の事前審査について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度業務（3月から9月）の第三者による事前審査を行った業務※について報告。 <p>※ 契約の透明性を図ることを目的に、技術提案書の特定前に第三者機関により実施する審査。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 了解した。 	